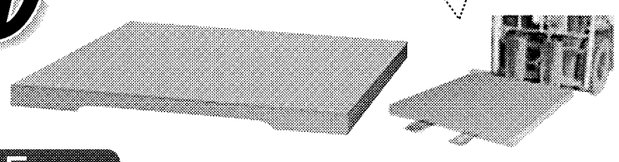
TANAKA　www.tanaka-scale.co.jp

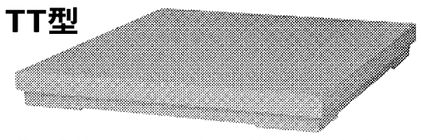
TANAKAのスインは
スリースタイル

用途に合わせて3種類のスインからベストなチョイスが出来る
TANAKAの「ザ スイン」は発売以来もうすぐ30年。
新しい技術やアイデアは取り入れ、良い所は残しながら進化してきたロングセラーです。

ライトな TTL型
薄いのにフォーク移動対応、ライトでも堅牢。



超ロングセラーモデル
TT型

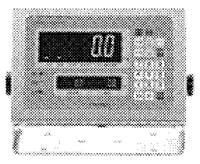


用途を選ばないオールラウンドタイプ。掘動機構付だから安心。
ご希望のサイズに製作可能。ステンレスタイプもあります。

極薄35mm UTTⅢ型

積面までの高さ 35mm（ひょう量600kgまで）埋め込まずに台車の計量もOK。ステンレスタイプで洗浄もOK。

ベストマッチなパートナー
HD-1000C



株式会社 田中衡機工業所
URL http://www.tanaka-scale.co.jp/ e-mail info@tanaka-scale.co.jp
本社
〒959-1145 新潟県三条市福島新田丙2318-1
TEL（0256）45-1251 FAX（0256）45-2204
■東京支店 ■関西支店 ■東北営業所 ■福岡営業所 ■南九州出張所

すべてはお客様のために。信頼される製品づくりを目指しています。　SK NiigaTa Seiki

これが新しい目盛のカタチ

快段目盛シリーズ
新発想
「段差型目盛」で一目で分かる。読み違えにくい。

ラインナップ
・アルミスケール
・シルバースケール
・キャッチアップスケール
・シルバースケール細巾
・クリップスケール

今日の便利！が輝く未来へ
SK 新潟精機株式会社
〒955-0055 新潟県三条市塚野目6丁目15番22号
☎（0256）31-5660（代） FAX（0256）39-7730
オフィシャルサイト http://www.niigataseiki.co.jp/
測定工具.com
www.sokuteikougu.com

信頼をつなぐ計量の大切さ
11月1日は計量記念日

きょう11月1日は〝計量記念日〟。現行の計量法が施行された1993年11月1日にちなみ、経済産業省がこの日を同記念日と定めたのに由来する。今年も計量意識の向上のため、計量記念日全国大会をはじめ各種イベントが全国で開かれる。また11月は「計量強調月間」でもある。計量は産業社会を成立させる基盤。改めて適正な計量の大切さについて、認識を深める機会としたい。

社会の共通基盤
一般社会の関心高める

モノづくりにおいて計量計測は研究開発や工程・品質管理、安全や環境対策、リスク管理などさまざま用いられる。また電気や水道の使用、食料品の売買、健康管理といった日常生活に密着したものまであらゆる分野で関わる。東日本大震災以後は特に、電力量の監視や放射線測定などの結果に多くの人が注目していることからも、適正な計量が供給されることの大切さが認識できる。

計量制度は貨幣などと同様に社会の重要な共通基盤であり学術や産業の基礎を担い、信頼性を確保するのに必要不可欠。とはいえ、一般の生活者にとっては大きな関心事とはなかなかなりにくい。言い換えれば計量制度への信頼が高いからこそとも考えられる。

計量の基礎を定め適正な計量を確保することは、経済発展や文化向上のために重要な課題。計量記念日では計量法の適切な実施を進めるとともに、広く一般社会に計量への関心を高めるきっかけづくりとなることが期待されている。

東京で全国大会
功労者表彰や記念行事

全国の計量・計測関係者が一堂に会し、交流を深めるのが、きょう東京都港区のホテルインターコンチネンタル東京ベイで催される計量記念日全国大会。

適正な計量には関係者の不断の努力があったことを顕彰するため、式典では計量関係者功労表彰として、計量行政や計量器の開発などに貢献した人々を対象とする経済産業大臣表彰が贈られる。また優良適正計量管理事業所の表彰のほか、計量制度の運営に貢献した人々には産業技術環境局長表彰が贈られる。

記念行事では港湾空港技術研究所の高橋重雄理事長による「津波から生き延びる」と題した特別講演が行われ、GPS波浪計などで津波を沖合ではかることの重要性などについて説明する。

同大会では計量普及啓発事業の一環として広く一般から募集した「計量啓発標語」の優秀作品を発表する。全国から791点の応募があり埼玉県の女性による最優秀作品「身につけよう きちんと計る よい習慣」などの10点が表彰される。

同事業のうち小学生対象に行われるのが「はかってみようコンテスト」。学校や家庭生活などの身近なものについて「はかる（計る、量る、測る）」対象と方法を工夫したアイデアを募集している。多様な方法や考え方ではかることを実践し、その楽しさや大切さを体験し理解してもらうため実施されており、8回目となった今回には全国から113点の応募が集まった。

最優秀作品には茨城県の小学4年生による「くもの巣をはかる」が選ばれ、全21の優秀作品が表彰される。

また、同大会以外にも計量強調月間の間に計量をテーマにしたさまざまなイベントが企画されており、計量意識の向上が図られる。

計量・計測関係者が交流を深める「計量記念日全国大会」

メートル原器
重要文化財に指定

全国の計量関連の団体や計量機器メーカーなどで構成する日本計量振興協会では記念日に合わせて毎年、広報誌「計量のひろば」を作成。行政、関係団体、消費者センターなどを通じて配布している。最新号では長さの基本単位として使われるメートルの元である「メートル原器」が9月に重要文化財指定を受けたのを機に、これまでの変遷について紹介している。

この原器は、1885年に日本のメートル条約加盟に伴い、フランスの国際度量衡局から配布され、1890年から1960年まで長さの国家標準だった。従来使われていた尺や貫などの単位を国際的なメートル法に準拠するため重要な役割を果たしたと言える。

関東大震災や太平洋戦争をくぐり抜けてきた原器だが、モノであるため常に紛失や損傷の恐れが生じる。また徐々に長さが変化する可能性もあり、当時は定期的に国際メートル原器と比較しなければならなかった。

60年に国際度量衡総会でメートルの定義が光の波長に基づくものに変わったことで原器の役目は終わる。さらに83年には光の速さを元にした「1秒の299792458分の1の時間に光が真空中を伝わる工程の長さ」に定義が変更されている。

なお、この光速度に基づいてメートルを実現するレーザーに関する研究では日本の産業技術総合研究所での研究成果も重要な役割を果たしている。メートル原器の測定で培われた技術や考え方は、現在の精密長さ測定技術にも発展して受け継がれているという。日本計量新興協会では「長さの基準の変遷についてここまで詳しくまとめられた資料は貴重なので、できるだけ多くの人に手にとってもらいたい」（事業部）と呼びかけている。

計量記念日に合わせて広報誌「計量のひろば」を作成

「計量士」専門コース新設　東京・大阪で来年初開催

日本計量振興協会は計量士向けの研修講座で「専門コース」を新設する。2013年1月24、25日に東京で、2月7、8日に大阪で「計量士技術講習会（計測管理専門コース）」を開く。同協会のリフレッシュ基礎コースの受講者が対象。計量士は経済産業大臣によって登録される国家資格で、同協会には1000人程度が登録している。有資格者に向けステップアップの講座を充実させていく。

コースの新設に合わせ専用テキストを作成。計測管理に関するISO9001などの国際規格や、計測の信頼性の指標である〝不確かさ〟についての理解やその適用方法など、現在の計測技術や計測管理システムに関するマネジメント能力向上をテーマとしている。

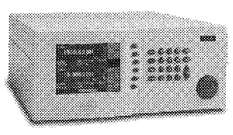
東京会場は日本計量会館（東京都新宿区）で、大阪会場は薬業年金会館（大阪市中央区）で開く。時間はいずれも初日が9時50分から、2日目は9時15分から。参加料は同協会の会員計量士は2万円、会員外は3万円。

日本計量振興協会

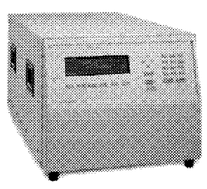
圧力校正を簡単にしませんか？

FLUKE Calibrationの圧力校正器は、高精度の基準圧力センサーを内蔵。
重錘を使わずにデッドウェイトテスターや重錘形基準圧力計を凌駕する
圧倒的な校正能力と作業効率の向上を提供します。
もちろん、全ての機材がJCSS校正対応可能。

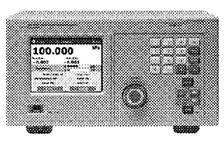
気体用ハイスピード自動圧力コントローラ/校正器
RUSKA 7250シリーズ
●レンジ：±2.5kPa～21MPa
●確　度：±0.005% of rdg.～
●媒　体：N2、AIR等不活性ガス



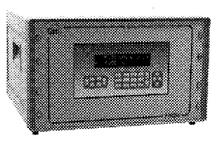
液体用自動圧力コントローラ/校正器
RUSKA 7615
●レンジ：41.5MPa～275MPa
●確　度：0.01% F.S.×3レンジ
●媒　体：OIL、水、代替フロン等



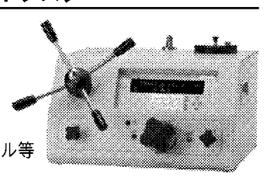
気体用ハイエンド自動圧力コントローラ/校正器
DHI PPC4シリーズ
●レンジ：±15kPa～14MPa
●確　度：±0.005% rdg.～
●媒　体：N2、AIR等不活性ガス



液体/高圧気体用自動圧力コントローラ/校正器
DHI PPCHシリーズ
●レンジ：20MPa～200MPa
●確　度：±0.012% of rdg.～
●媒　体：N2またはAIR、OIL、代替フロン等



液体用電子式デッドウェイトテスタ
DHI E-DWT-H
●レンジ：7MPa～200MPa
●不確かさ：0.025% of rdg.
●媒　体：OIL、水、代替フロン、アルコール、シリコンオイル等



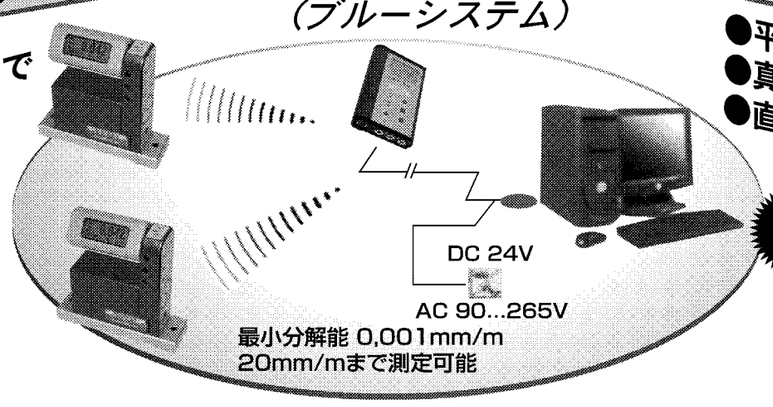
FLUKE calibration の圧力校正機器は私達がお届け致します。
株式会社 大手技研
http://www.ohtegiken.co.jp
本社　茨城県つくば市千現2-9-1　TEL 029-855-8778 FAX 029-855-8700
関西営業所　兵庫県明石市松の内2-1-8 50ヤングビル6F　TEL 078-926-1178 FAX 078-926-1180
テクノロジーセンター　茨城県かすみがうら市中台258-1　TEL 029-840-9111 FAX 029-840-9100

計測器の校正は、「正確」「信頼」「安心」のJQAにお任せください。
ISO/IEC 17025に基づく校正機関として認定を受け、
信頼性の高い校正サービスを提供します。

主な校正対象分野
●長さ・電気・放射線・温度・湿度・質量・硬さ・力・トルク・圧力・密度・体積・流速・流量・音響・加速度・濃度・時間等の計測器の校正
●各種出張校正

JQA
http://www.jqa.jp
一般財団法人 日本品質保証機構
お問合せ先　計量計測センター　事業推進課　TEL.03-3416-5554
〒157-8573 東京都世田谷区砧1-21-25

空飛ぶデーター　BlueSYSTEM（ブルーシステム）　精密装置の測定に
ワイヤレスで1人で測定らーくらく
●平面度
●真直度
●直角度
これ1台でOKです



最小分解能 0,001mm/m
20mm/mまで測定可能
JIMTOF 西館ホール W-3038出展
http://www.obishi.co.jp
E-mail ok@obishi.co.jp
(株)大菱計器製作所
長岡市南陽1-1216-1 Tel.0258-22-1100（代） Fax.0258-22-0014
東京 Tel.03-3293-8881　名古屋 Tel.052-322-4031
JIS表示認定工場 386147